

2013医療安全全国フォーラム

いま病院の医療安全に求められていること  
『医療安全管理者の役割について』

栃木県自治医科大学附属病院  
医療安全対策部 医療安全管理者  
看護師  
寺山美華

# 医療安全管理者に求められている仕事は幅広い

- 自施設での医療事故への対応
- 発生要因への改善策、実施、評価



- 経験のない事故を未然に防ぐことができるような対応策がとられているか
- どの施設でも同じ状況を抱えていることに気づかない



- 情報の共有・改善策の情報提供

# 梟セーフティネットの発足

- 2006年の医療安全管理加算の設定により多くの施設で医療安全管理者が配置された
- 設立当時（2009年）のメンバーは、医療安全管理者に任命され手探り状態での活動だった
- 医療安全管理者は看護職が配置されることが多く初めての分野での活動に孤独な状態で活動していた

# 栃セーフティネットのめざすところは

医療安全管理者が連携を深めるためのネットワークが立ち上がれば、**情報共有**が容易となり医療安全推進につながり、医療安全管理者同士が**支え合う**ことができる

- ☛ 1人で悩まない！
- ☛ みんなで、連合軍で！
- ☛ 他の病院における活動（取り組み）を役立てる

# 栃セーフティネット運営要項

## 第4章 メーリングリスト

### 第11条（目的）

会員の医療安全に関する情報交換を推進する

☛Yahoo! グループのメーリングリストを利用

# 栃セーフティネットの現状 平成25年度

## 【メンバー】

各施設の医療安全管理者 (全員看護師) 19名

アドバイザー (元メンバーや医師など) 6名 合計：25名

## 【開催回数】

2カ月に1回の開催で年6回

## 【開催場所】

当番制：各施設の会場を提供する

## 【開催時間】

15:00～17:00

# 栃セーフティネットの活動

## 1、情報交換（メーリングリスト）

### 《近年のテーマ》

- 小児水薬の計量について
- 薬袋に記載されている患者情報の取扱い
- 酸素ボンベの交換時期・誰が交換するか
- インシデントレポートの集計・活用等について
- 電子カルテにおける診療録の不正閲覧
- 麻薬管理における薬剤師の介入状況
- 患者影響レベルについて
- 各種研修会・講演会の情報提供

# 栃セーフティネットの活動

## 2、勉強会（安全情報・知識の習得・医材の紹介）

- 離床センサー内蔵型低床電動ベッド
- フォーリーカテーテル
- 弾性ストッキング
- オーバーテーブル・ベッドサイトテーブル



# 栃セーフティネット

## 3、施設見学

- テルモ研修センター（テルモメディカルプラネックス）
- 自治医科大学メディカルシミュレーションセンター
- 足利赤十字病院（新築移転）
- 那須赤十字病院（新築移転）

# 栃セーフティネット

## 4、成果物の共有

- 転倒転落予防DVD（患者教育用）
- 転倒転落チェックリスト
- 患者影響度レベル基準
- 身体抑制フローチャート

## 活動のメリット

- これまでは一人で悩んでいたことも、すぐにメンバーへ問いかけができ、情報を得られる。
- 他の施設で情報提供の依頼があり、自施設の状況を確認することで、思わぬリスクの発見をすることがある。
- お互いに顔の見えるネットワークがいい

## 栃セーフティーにおける今後の課題

- 公的な活動として認めてもらい情報交換の場を広めていくこと
- 限られた資源の中で幅広い業務がある中ため、皆で協力して合理的な手抜きをしていく
- ストレスフルな状況からの息抜きとなる企画をすること